

## 車両情報管理システム「Car Info Report 車両管理クラウド」の商用運転を「KDDI クラウドプラットフォームサービス」上で開始します。

No. 2013-005

2013年9月18日(水)14:00

HYC 株式会社(本社:東京都三鷹市、代表取締役:吉野 一)は、2013年12月2日(月)より、ロータス九州株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長:桑原 貞造)、自動車アフターマーケット連携高度化コンソーシアム(本部:東京都新宿区、会長:小野田 弘士)等の協力のもと、車両情報管理システム「Car Info Report 車両情報クラウド」の商用運転を「KDDI クラウドプラットフォームサービス」上で開始します。

「Car Info Report 車両情報クラウド」で当初扱う情報は、KDDI 株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田中 孝司)が運営する法人向け SaaS プラットフォーム「KDDI Business Port」で HYC が自動車アフターマーケット事業者向けに販売している「Car Info Report アプリシリーズ」から利用者の同意を得て収集した情報(個人情報を除く)を中心とし、システムでは、これら情報の「整理・統合・格納・解析」などを行います。

※「KDDI Business Port」に提供している製品は「KDDI Business App NAVI」にて販売しています。

※「KDDI Business App NAVI」の URL : <http://biz-appnavi.kddi.ne.jp/>

※「KDDI Business Port」で提供しているアプリは au に限らず全ての android OS 4.0 端末上で動作します。

商用第一弾として、「Car Info Report 車両情報クラウド」のデータベースには、

- ① 国が定めた汎用スキャンツール標準仕様機「センサーDST-i」で取得した OBD データを車両情報とひもづけ管理する、整備事業者・車体整備事業者・中古車流通事業者向けアプリ「Car Info Report @OBD」から収集したデータ。
- ② ロータス九州株式会社の協力を得て開発した、整備事業者・車体整備事業者向け顧客提案型部品交換アプリ「Car Info Report @部品交換」から収集したデータ。
- ③ 自動車アフターマーケット連携高度化コンソーシアムの協力を得て開発した、法人車両向け燃費管理アプリ「Car Info Report @燃費」から収集したデータ。

を格納し、

- ① 故障コードの出現傾向や部品の交換頻度傾向から予防整備の提案を行うなど、整備事業者に便利な「OBD 故障コード出現数や交換部品点数の車両型式別ランキング検索機能」。
- ② ドライバーの運転特性が実燃費に与える影響をパワートレインの種類別(ガソリン車・ハイブリッド車など)に分析し、燃費削減に本当に効果的な運転作法を車種別に把握するなど、法人車両管理責任者・リース会社等に便利な「車種別・運転特性格燃費ランキング検索機能」。
- ③ 任意の車両の過去のイベント情報を参照し正確な買取値指や販売プライシングを行うなど、中古車買取販売事業者・オートオークション事業者・検査会社等に便利な「車両トレーサビリティ情報の車台番号別検索機能」。

などの提供を予定しています。

＜本リリースに関する報道機関様のお問い合わせ先＞  
HYC お客様サポートデスク  
e-mail: desk@hyc.mitaka.tokyo.jp

## *News & Information*

東京都三鷹市下連雀3-27-1  
HYC 株式会社

商用第二弾として、システムのインターフェースを公開し、車検証のデータフォーマットをキーに他社データベースとのリレーションシップを実現する計画も視野に入れていきます。

今年度中に「Car Info Report @スポット溶接(仮称)」「Car Info Report @ OBDドラログ(仮称)」「Car Info Report @車体整備見積事例アーカイブズ(仮称)」など自社開発アプリの追加リリースも予定しており、「Car Info Report 車両管理クラウド」で取り扱う情報の更なる拡充を原動力に、「CRM」「ITS」「コンシューマ向け情報閲覧サイト」など、多方面にわたる潜在ニーズの取り込みを目指します。

以上

<本リリースに関する報道機関様のお問い合わせ先>  
HYC お客様サポートデスク  
e-mail: desk@hyc.mitaka.tokyo.jp